

議事要旨(2) IFRS のエンドースメントに関する作業部会における検討状況

冒頭、小賀坂副委員長より、初度エンドースメント手続において抽出された実務上の困難さを生じる可能性のある適用及び解釈に関する項目について、IFRS適用課題対応専門委員会に報告するための項目の棚卸しに関するこれまでの検討状況について説明がなされ、板橋ディレクターより、審議資料に基づく詳細な説明がなされた。

説明に対する委員からの主なコメントは次のとおりである。

- ある委員より、次のコメントがあった。
 - 実務がすでにある程度行われている中で改めて課題に対応することが難しいことは理解できるため、IFRS 適用課題対応専門委員会に報告する項目はないとする事務局提案はやむを得ないと考える。ただし、監査人の交代の影響も踏まえ、今後、関係者の間で解釈が異なる可能性がある項目や解釈が異なってしまった項目については、実務的な統一性を持たせるための活動を早期に行う必要があると考える。

これに対して、事務局より、次の回答がなされた。

- 今後は、可能な限り、実務が開始する前に解釈の対応を図っていく必要があると考える。

以 上